

事業番号	07 03 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検	
事業名	中小企業振興センター事業費	部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課	実施期間	S42 ～	E-mail	keieishien@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)									
8つの重点目標	労働生産性								
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成 2-3 海外との未来志向の連携								

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 県内中小企業の経営革新、経営基盤及びマーケティング力の強化に資する事業を一体的に行い、有望市場への提案機会の拡大や提案力・ブランド力の向上を図り、販路開拓・拡大等を促進する。 【これまでの取組】 ・受発注取引推進員等を配置し、県内企業と関東・中京・関西圏企業との取引斡旋紹介を通じ、中小企業のマッチングを促進（受発注取引推進員（県内）4名 発注開拓推進員（県外）3名 R元年度斡旋紹介件数実績 1,323件） ・県外メーカーとの商談機会の提供等を通じて、県内企業の工業製品の国内販路開拓を促進（R元年度商談実績 3,253件） ・海外有望市場への輸出増を図るため、グローバル展開推進員等の配置や商談会への出展支援により、県内企業の工業製品等のアジア新興国等への販路開拓を促進（R元年度商談実績 428件）				
	令和2年度点検結果 (令和元年度実施事業分) ・ 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (中小企業の経営支援) ・県内事業者に対して、より効果的・効率的に、専門的な一貫支援が求められている。 (受発注取引支援) ・推進員への相談需要は高く、推進員のあっせんによる契約成立の実績も高い。 ・コロナ禍において多くの案件が取引価格を軸とした契約が中心となってきており（価格競争が生じている）、技術や品質面を踏まえた適正価格で契約できるよう支援していく必要がある。 (工業製品の販路開拓支援) ・成長分野や有望市場に応じた製品・サービスの提案・売り込む機会の確保、新たな営業手法の活用により、効果的な販路の開拓・拡大を図る必要がある。特に、コロナ禍においては、対面型の営業、展示会の出展が困難となっており、オンラインツールを活用した販路開拓支援についても実施していく必要がある。 </td> <td> (中小企業の経営支援) ・県内産業支援機関との連携のあり方を踏まえた中小企業振興センターの推進体制の見直し、効果的な支援事業の実施により、県内中小企業の販路開拓・拡大等を促進する。 (受発注取引支援) ・県の重点分野（航空、医療）や成長分野へのアプローチは継続。また、技術や品質面を踏まえた適正価格での契約ができるよう、発注企業に対して購買部門だけでなく、上流の部門（研究、開発等）へのアプローチも積極的に実施していく。 (工業製品の販路開拓支援) ・成長分野や有望市場となる出展先を選定し、事業者への支援を行う。 ・セミナー等を通して、県内企業の営業スキルの向上を図る（オンライン営業も含む）。 ・県内企業の高い技術力・工業製品をPRするためのオンライン発信サイトによる販路開拓支援を実施。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	(中小企業の経営支援) ・県内事業者に対して、より効果的・効率的に、専門的な一貫支援が求められている。 (受発注取引支援) ・推進員への相談需要は高く、推進員のあっせんによる契約成立の実績も高い。 ・コロナ禍において多くの案件が取引価格を軸とした契約が中心となってきており（価格競争が生じている）、技術や品質面を踏まえた適正価格で契約できるよう支援していく必要がある。 (工業製品の販路開拓支援) ・成長分野や有望市場に応じた製品・サービスの提案・売り込む機会の確保、新たな営業手法の活用により、効果的な販路の開拓・拡大を図る必要がある。特に、コロナ禍においては、対面型の営業、展示会の出展が困難となっており、オンラインツールを活用した販路開拓支援についても実施していく必要がある。
課 題	今後の方向性				
(中小企業の経営支援) ・県内事業者に対して、より効果的・効率的に、専門的な一貫支援が求められている。 (受発注取引支援) ・推進員への相談需要は高く、推進員のあっせんによる契約成立の実績も高い。 ・コロナ禍において多くの案件が取引価格を軸とした契約が中心となってきており（価格競争が生じている）、技術や品質面を踏まえた適正価格で契約できるよう支援していく必要がある。 (工業製品の販路開拓支援) ・成長分野や有望市場に応じた製品・サービスの提案・売り込む機会の確保、新たな営業手法の活用により、効果的な販路の開拓・拡大を図る必要がある。特に、コロナ禍においては、対面型の営業、展示会の出展が困難となっており、オンラインツールを活用した販路開拓支援についても実施していく必要がある。	(中小企業の経営支援) ・県内産業支援機関との連携のあり方を踏まえた中小企業振興センターの推進体制の見直し、効果的な支援事業の実施により、県内中小企業の販路開拓・拡大等を促進する。 (受発注取引支援) ・県の重点分野（航空、医療）や成長分野へのアプローチは継続。また、技術や品質面を踏まえた適正価格での契約ができるよう、発注企業に対して購買部門だけでなく、上流の部門（研究、開発等）へのアプローチも積極的に実施していく。 (工業製品の販路開拓支援) ・成長分野や有望市場となる出展先を選定し、事業者への支援を行う。 ・セミナー等を通して、県内企業の営業スキルの向上を図る（オンライン営業も含む）。 ・県内企業の高い技術力・工業製品をPRするためのオンライン発信サイトによる販路開拓支援を実施。				

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	中小企業振興センターの人的費、展示会中止に伴う事業費等の減
--------------------	-------------------------------

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)			
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末	R3年度目標値		R1年度	R2年度	R3年度	
事業コスト	1 受発注取引斡旋紹介件数	1,409件	1,323件 ↓	1,422件 ↑	1,300件	前年度繰越	0	0	0	
	2 国内販路開拓商談件数(工業製品)	3,473件	3,253件 ↓	1,327件 ↓	3,500件	当初予算	279,253	270,076	249,277	
	3 海外販路開拓商談件数(工業製品)	641件	428件 ↓	924件 ↑	400件	補正予算	-17,900	-69,594	-30,490	
	4					合計(A)	261,353	200,482	218,787	
	5					うち一般財源	260,703	200,399	218,288	
						決算額(B)	252,220	195,589		
						職員数(人)	1.8	1.8	1.8	
成果指標設定理由	受発注取引の成立や販路拡大には、マッチング機会を増やすことが重要であることから、受発注案件の斡旋紹介件数、国内・海外の販路開拓商談件数を成果指標に設定 ※過年度実績に基づき設定									

事業番号	07 03 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検	
事業名	中小企業振興センター事業費		部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課		
細事業No.	細事業名		R1年度最終予算		R2年度最終予算		R3年度予算	
1	県中小企業振興センター運営費補助金						当初予算	163,326
							補正予算	-17,881
			計	157,654	計	133,375	計	145,445
			千円		千円		千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)					
1	県中小企業振興センター運営費補助金 職員給与手当等	補助金	県中小企業振興センター職員の給与費への補助					
2	県中小企業振興センター運営費補助金 管理費	補助金	県中小企業振興センターの事務室借上料等の運営費への補助					
細事業No.	細事業名		R1年度最終予算		R2年度最終予算		R3年度予算	
2	中小企業経営サポート事業費						当初予算	12,895
							補正予算	-2,670
			計	26,249	計	16,560	計	10,225
			千円		千円		千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)					
1	専門家派遣事業	補助金	中小企業が抱える経営課題等に専門家を派遣					
2	ながの産業支援ネット推進事業	補助金	66支援機関によるワンストップ支援、支援施策の活用促進等					
細事業No.	細事業名		R1年度最終予算		R2年度最終予算		R3年度予算	
3	工業製品国内外販路開拓推進事業費						当初予算	73,056
							補正予算	-9,939
			計	77,450	計	50,547	計	63,117
			千円		千円		千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)					
1	受発注取引支援事業	補助金	推進員（県外3名、県内4名）を配置し、県内中小企業の取引を斡旋					
2	グローバル展開NAGANOパワーアップ推進事業	補助金	グローバル展開推進員の配置、海外展示会出展支援・商談会（工業製品） ※展示会については、一部オンライン商談会に変更					
3	国内販路開拓強化事業	補助金	技術提案キャラバン隊、成長期待分野展示会出展等を通じて、県外メーカーとの取引拡大を支援 ※展示会については、一部オンライン展示会に変更					
4	中小企業海外・国内販路開拓助成事業	補助金	展示会出展費用の一部助成					